

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	高齢者における頭頸部癌切除、再建症例の周術期合併症因子の解明		
1. 研究の目的と方法	高齢の方に対しても、最近では頭頸部のがんを取る手術と、その後の再建手術（皮膚や筋肉を移植して形や機能を回復する手術）が多く行われるようになってきています。ただし、高齢の方は若い方と比べて、手術の前後に合併症（感染や肺炎、体力低下など）が起きると、入院が長くなったり、集中したリハビリテーションが長期に必要なことがあります。 そこで最近では、手術の前に筋力トレーニング（プレハビリテーション）を行うことで、合併症を減らせる可能性があることが報告されています。私たちの研究では、過去の患者さんの記録を調べて、高齢の方で合併症が起きやすい要因を明らかにすることを目的としています。 この結果をもとに、今後はより安全に手術を行えるように工夫し、入院中の管理を改善して、高齢の患者さんの生活の質を高めることを目指しています。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2026 年 4 月 30 日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	頭頸部癌の患者さんで、2015 年 1 月 1 日～2025 年 7 月 31 日の間に東京慈恵会医科大学附属病院にて頭頸部癌と皮弁移植の手術を受けた 70 歳以上の方。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。	
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3) 情報の種類	年齢、性別、原疾患、術式、麻酔方法、既往歴、併存疾患、BMI、ASA-PS、原発部位、腫瘍進行度、切除範囲、手術時間、出血量、再建方法、気管切開の有無、ICU 管理、栄養状態、リハビリ介入の有無、CT 画像での骨格筋量の測定、レントゲンによる残存歯の状態、創部感染、肺炎、せん妄、血栓塞栓症、皮弁関連合併症など	
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 形成外科学講座
		氏名	石田勝大
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
	(3) 当施設の 試料・情報の	(1)の研究責任者と同じ	

	管理責任者	
	(4) 共同で研究を実施する施設とその責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。
6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 試料・情報の利用開始予定日：2025 年 11 月頃～	
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学 形成外科学講座 研究責任者：教授 石田 勝大（イシダ カツヒロ） 窓口担当者：教授 石田 勝大 電話番号：03-3433-1111（内線 3481） 対応時間：平日 9：00 ～ 16：00	

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。